

○旧市民会館費

総合政策部 総合政策課

1 これまでの検討の経緯

- 平成16年～ 市民会館管理運営対策プロジェクトチームによる検討開始
- 平成17年 7月 市民会館存続問題市民懇話会・市民会館存続問題意見交換会
- 平成18年10月 都城市総合文化ホール開館
- 平成19年 2月 旧市民会館の解体を発表
- 平成19年 9月 解体補正予算可決
- 平成19年10月 学校法人南九州学園が貸与要望を提出
- 平成21年 3月 学校法人南九州学園と使用貸借契約を締結
- 平成25年～ 建築専攻の大学・高専の専門家への相談
- 平成29年12月 学校法人南九州学園からの返還の申し出
- 平成30年 3月 都城市議会全員協議会でこれまで経緯及び今後の方針等を説明
日本建築学会等に都城市の方針を伝達
- 平成30年 7月 市民アンケート実施【解体を支持：83.5%（前回：82.9%）】
- 平成30年 8月 民間企業等からの提案期限（参加表明企業1件、相談企業1件）
- ” 8月 日本建築学会長から、民間提案期間の延長につき文書で依頼
- 平成30年 9月 市議会全員協議会で民間提案期間の延長を表明
- 平成31年 1月 民間企業等からの提案期限（提案なし）

- 1966(S41).3完成(築52年)
- 設計:菊竹清訓建築設計事務所
 - ・RS造一部S造 地上2階
 - ・建築面積: 2,261.40㎡
 - ・延床面積: 3,065.64㎡
 - 増築後: 4,204.14㎡



2 方針

民間提案期限とした平成31年1月末までに、旧市民会館を将来にわたって保存活用していただける民間企業等からの提案はありませんでした。これを受けて、都城市は、「旧市民会館の解体はやむを得ない。」と判断するに至りました。



○旧市民会館費

総合政策部 総合政策課

3 事業目的

旧市民会館の解体工事費及びメモリアル制作に関する予算を計上するものです。旧市民会館は、故菊竹清訓氏の設計であり、メタボリズム建築として評価されていることから、模型、記念誌等の制作を行い、その記憶を伝承していきます。

4 事業概要

(1) 解体工事

○工 期：平成31年4月～平成32年3月（予定）

(2) メモリアル制作

- 記念誌：建築的特徴、設計者や携わった人の思い、市民の思い出などをまとめる。
- 模 型：構造や質感等を精巧に再現し、市民にもよく目につく公共施設内に展示する。
- 動 画：外観及び内観に加え、過去の旧市民会館のニュース映像等を保存記録する。

5 予算額

192,966千円